

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120324

地域看護方法論Ⅱ Community Health Nursing Ⅱ

担当教員	阿部 智恵子 塚田 久恵 織田 初江 曾根 志穂 金子 紀子				
実務経験					
開講年次	3年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	対象別地域看護活動、成人保健指導、高齢者保健指導、精神保健指導、障害者（児）保健指導、学校保健活動、産業保健活動、難病保健指導、				
学習目的・目標	【目的】 地域で生活する個人や家族、住民集団に対して、そのヘルスニーズに応じた地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。【目標】 ライフサイクルと健康問題ごとに、行政サービスとしての看護援助提供方法を理解する。 ・成人・高齢者保健福祉、精神保健福祉における地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。 ・学校保健の概要、養護教諭の職務内容について理解する。・産業の場で働く労働者の生活・労働環境と健康問題と、働く人々の健康の保持・増進を支援する産業看護職の役割と機能について理解する。 ・難病対策における看護職の役割・機能を学習する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	オリエンテーション 高齢者保健福祉対策と高齢者の保健活動・保健指導 ・高齢者の生活と保健指導（演習）・臨地演習の説明				
3-5	高齢者単身世帯等への訪問・振り返り・レポート作成				
6-8	成人保健福祉対策と成人期の保健活動・保健指導 ・成人保健活動に関わる援助技術（演習） ・特定健診、特定保健指導の演習				
9-11	障害者保健福祉対策と障害者の生活上の障害と保健指導 精神障害者保健指導に関わる援助技術・コミュニケーション技術 難病患者の生活と保健指導				
12-15	学校保健の概要、養護教諭の職務内容他（講義・演習）				
16-19	産業保健の場における看護職の役割と機能、保健指導他（講義・演習）				
20-22	グループワーク、まとめ				
23	試験				
教科書	松田正己著者代表：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論、医学書院 標準保健師講座2 公衆衛生看護学技術、医学書院 国民衛生の動向（厚生統計協会）				
参考図書等	宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 総論」（日本看護協会出版会）宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 各論1」（日本看護協会出版会）宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 各論2」（日本看護協会出版会） 公衆衛生マニュアル（南山堂）保健師業務要覧（日本看護協会出版会）「養護教諭の執務のてびき」				
評価指標	定期試験 60%、グループ課題の成果 20%、個人レポート 10%、出席および参加状況 10%				
関連科目	地域看護学概論、地域ケアシステム論、地域看護診断・援助論、 地域看護方法論Ⅰ、地域看護学実習、公衆衛生学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、精神看護学の各科目				
教員から学生へのメッセージ	地域看護方法論Ⅱを学ぶにあたっては、地域看護概論、地域看護診断・援助論、地域看護方法論Ⅰを振り返り、さらに広い視野、柔軟な発想を持って学習に臨んでいただきたいと思います。				